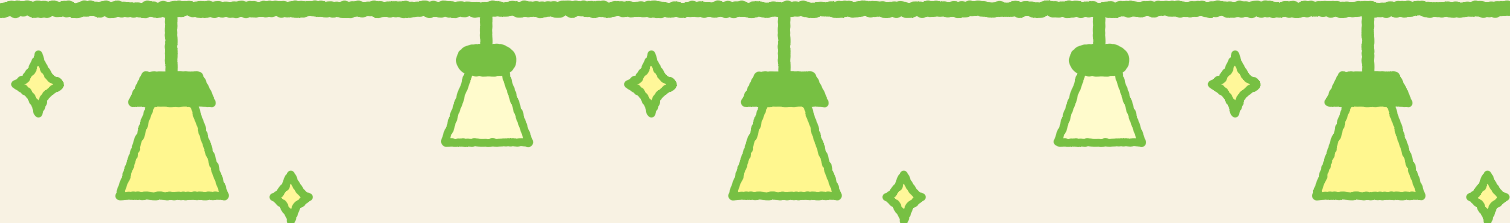




UNITED CINEMAS ECO DESIGN PROJECT



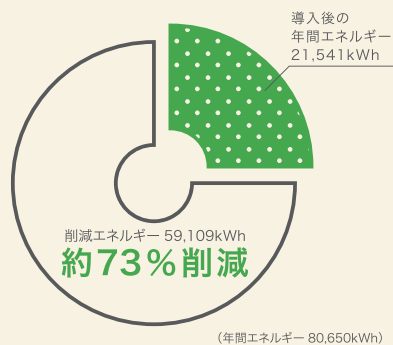
館内の「ひかり」をデザインすることで、
ぶなの木 約1,900本分*が吸収するCO₂量を削減。

2011年、私たちユナイテッド・シネマは、地球にやさしい映画館への
新たな一歩を踏みだしました。

それは、映画館にあふれる「ひかり」をデザインし、省エネルギー化を
実現すること。館内にLED照明を導入するとともに、窓ガラスに太陽光に
よる室温上昇を抑制する遮蔽フィルムを設置。

消費電力はもちろん、温室効果ガスの排出量を大幅に削減しています。
地域とそこに住む人、そして美しい地球を愛する想いを胸に、私たちは
人と地球にやさしい取り組みをつづけていきます。

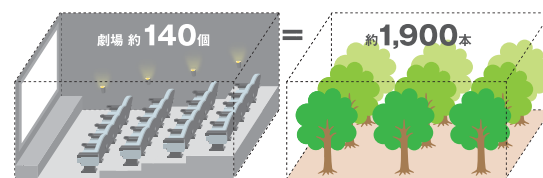
■対象照明機器及び遮蔽フィルムの
年間電力使用量比較



■年間 CO₂排出量の比較



劇場(床面積)約140個分(約45,652m²)の
ぶなの天然林に匹敵するCO₂削減効果



※80年生のぶな天然林 平均で約4.6t-CO₂/年・ha(林野庁HPより)
ぶな天然林 21t-CO₂/年÷4.6t-CO₂/年・ha×10,000m²(1ha)=約45,652m²
ユナイテッド・シネマ岸和田1番スクリーン(床面積)16.4m×19.9m=326.8m²
45,652m²÷326.8m²=139.7(当社試算)

*ぶなの木1本あたりのCO₂吸収量は、1年で平均して約11kgとしています。(環境省/林野庁より試算) 21t(21000kg)÷11kg=1909(=約1900本)

ユナイテッド・シネマ岸和田は、大阪府と協力しながら、
地球温暖化対策に取り組んでいます。

地球温暖化対策費用の一部は、大阪府民間事業者省CO₂設備導入支援事業からの補助金を活用しています。